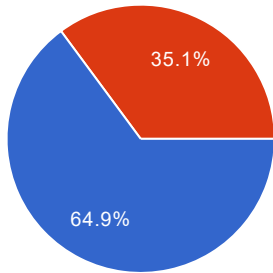


111 件の回答

[すべての回答を表示](#) [分析を公開](#)

概要

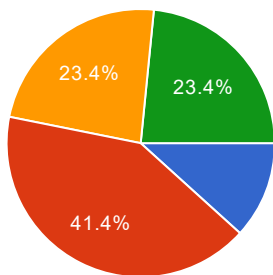
性別について



男性 72 64.9%

女性 39 35.1%

経験年数について



1-3年目 13 11.7%

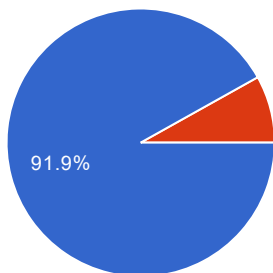
4-10年目 46 41.4%

11-20年目 26 23.4%

21年目以上 26 23.4%

学会参加について

「青森県理学療法士学会」への参加について

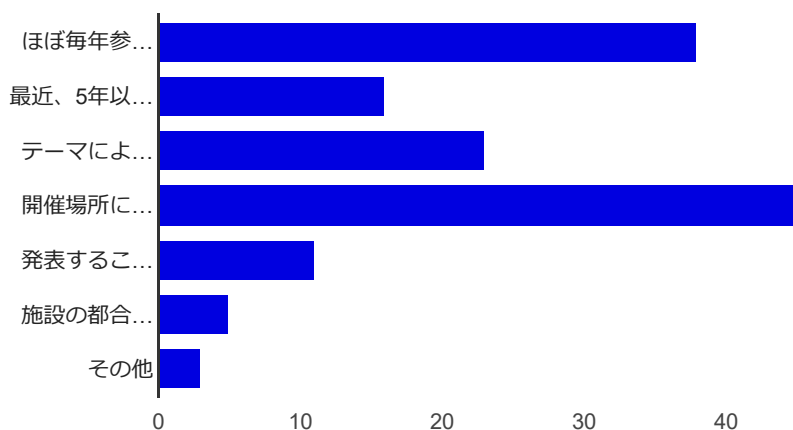


あり 102 91.9%

なし 9 8.1%

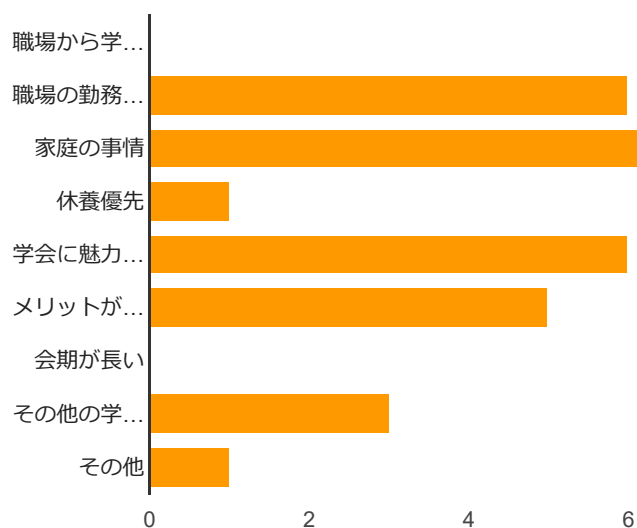
青森県理学療法士学会へ参加したことが「ある」とご回答した方へ

学会参加の頻度等について（「参加したことがある」とお答えした方のみ回答）



| | | |
|--------------------------------|----|-------|
| ほぼ毎年参加している（経験1年目は初めて参加した方が該当） | 38 | 37.3% |
| 最近、5年以内に参加していない（次の項目にもご回答ください） | 16 | 15.7% |
| テーマによって参加している | 23 | 22.5% |
| 開催場所によって参加している | 45 | 44.1% |
| 発表することがある場合に参加している | 11 | 10.8% |
| 施設の都合で参加している | 5 | 4.9% |
| その他 | 3 | 2.9% |

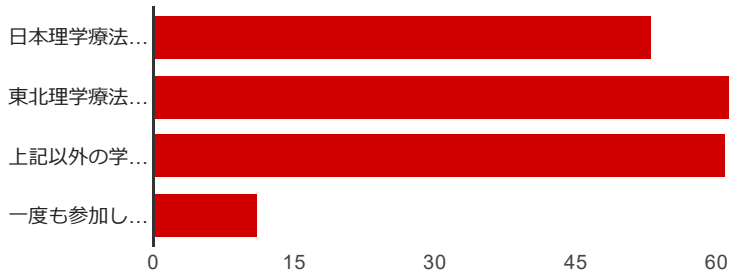
最近、5年以内に参加していない理由について



| | | |
|--------------------|---|-----|
| 職場から学会参加への理解が得られない | 0 | 0% |
| 職場の勤務体制の都合 | 6 | 30% |
| 家庭の事情 | 8 | 40% |
| 休養優先 | 1 | 5% |
| 学会に魅力がない | 6 | 30% |

| | | |
|-------------|---|-----|
| メリットがない | 5 | 25% |
| 会期が長い | 0 | 0% |
| その他の学会参加が優先 | 3 | 15% |
| その他 | 1 | 5% |

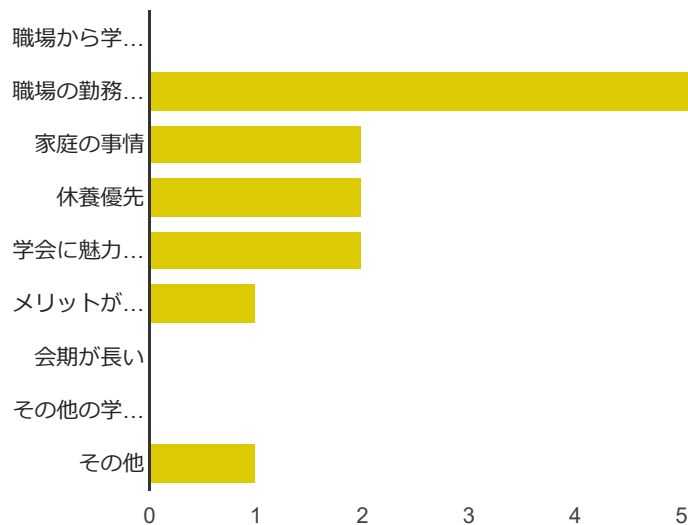
他の学会等への参加について



| | | |
|-----------------------------------|----|-------|
| 日本理学療法学会（全国学会）に参加したことがある | 53 | 52% |
| 東北理学療法学会（東北ブロック学会）に参加したことがある | 68 | 66.7% |
| 上記以外の学会などに参加したことがある（理学療法関連以外でもOK） | 61 | 59.8% |
| 一度も参加したことがない | 11 | 10.8% |

青森県理学療法士学会へ参加したことが「ない」とご回答した方へ

県学会へ参加したことがない理由について



| | | |
|--------------------|---|-------|
| 職場から学会参加への理解が得られない | 0 | 0% |
| 職場の勤務体制の都合 | 6 | 66.7% |

| | | |
|-------------|---|-------|
| 家庭の事情 | 2 | 22.2% |
| 休養優先 | 2 | 22.2% |
| 学会に魅力がない | 2 | 22.2% |
| メリットがない | 1 | 11.1% |
| 会期が長い | 0 | 0% |
| その他の学会参加が優先 | 0 | 0% |
| その他 | 1 | 11.1% |

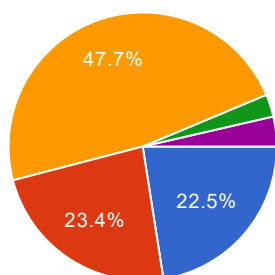
他の学会等への参加について



| | | |
|-----------------------------------|---|-------|
| 日本理学療法学会（全国学会）に参加したことがある | 4 | 44.4% |
| 東北理学療法学会（東北ブロック学会）に参加したことがある | 3 | 33.3% |
| 上記以外の学会などに参加したことがある（理学療法関連以外でもOK） | 5 | 55.6% |
| 一度も参加したことがない | 3 | 33.3% |

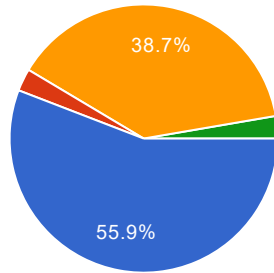
青森県理学療法士学会の会期について（すべての方へ）

参加しやすい曜日について



| | | |
|-----------------|----|-------|
| 土曜日 | 25 | 22.5% |
| 日曜日 | 26 | 23.4% |
| 土曜日・日曜日とも特に違いなし | 53 | 47.7% |
| 平日 | 3 | 2.7% |
| その他 | 4 | 3.6% |

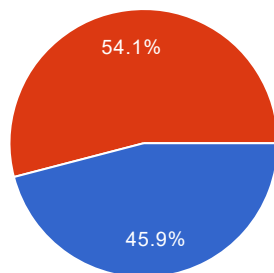
日程について



| | | |
|-------------------------------|-----------|-------|
| 現状の日程（1日目は午後半日、2日目は終日）でちょうどよい | 62 | 55.9% |
| もう少し長くてもよい | 3 | 2.7% |
| 1日で終わるのが良い | 43 | 38.7% |
| その他 | 3 | 2.7% |

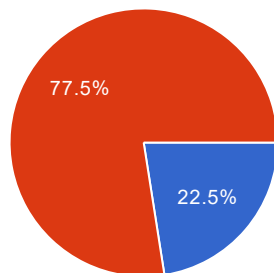
学会発表について

青森県理学療法士学会での発表について



| | | |
|----|-----------|-------|
| あり | 51 | 45.9% |
| なし | 60 | 54.1% |

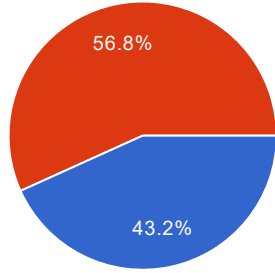
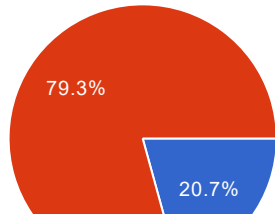
東北理学療法学会（東北ブロック学会）での発表について



| | | |
|----|-----------|-------|
| あり | 25 | 22.5% |
| なし | 86 | 77.5% |

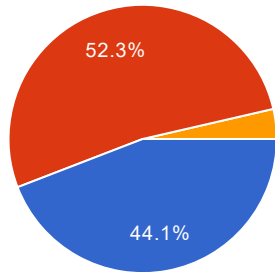
日本理学療法学会（全国学会）での発表について

| | | |
|----|-----------|-------|
| あり | 23 | 20.7% |
| なし | 88 | 79.3% |



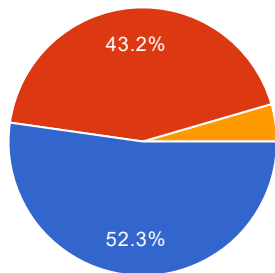
あり **48** 43.2%
なし **63** 56.8%

今後の学会発表について



発表を検討している **49** 44.1%
発表は考えていない **58** 52.3%
その他 **4** 3.6%

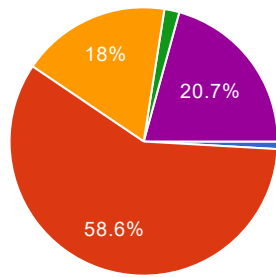
学会発表に向けてのサポート体制について



もし学会発表のサポートがあれば受けたい **58** 52.3%
特に必要ない **48** 43.2%
その他 **5** 4.5%

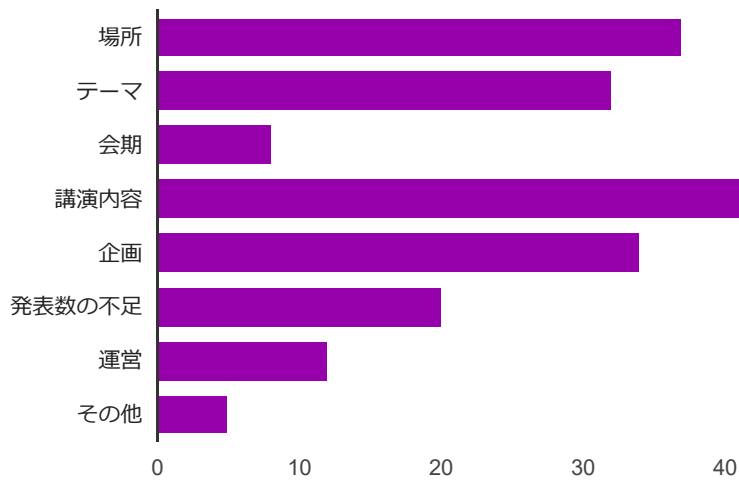
県学会の内容について

これまでの県学会内容について



| | | |
|-------|----|-------|
| 非常に満足 | 1 | 0.9% |
| 満足 | 65 | 58.6% |
| 不満 | 20 | 18% |
| 非常に不満 | 2 | 1.8% |
| 現状で充分 | 23 | 20.7% |

今後の県学会としてどのような点に改善が必要とご思いますか？



| | | |
|--------|----|-------|
| 場所 | 37 | 33.3% |
| テーマ | 32 | 28.8% |
| 会期 | 8 | 7.2% |
| 講演内容 | 45 | 40.5% |
| 企画 | 34 | 30.6% |
| 発表数の不足 | 20 | 18% |
| 運営 | 12 | 10.8% |
| その他 | 5 | 4.5% |

学術局アンケート自由記載

- ・県士会だけでも様々な研修会があり、企画する方も参加する方も大変だと思いますので、学会に併せてポイント取得で終了できるようになると、どちらも楽になるのではと思います(なかなか難しいとは思いますが)。
- ・学会発表形式の口述とポスターその他すべてを聴講したいですが、並行して発表が進む場合が多く、すべてを聴講できる環境を整えてほしいです。
- ・テクニカルな部分を学べる時間があると、即臨床に反映できるので参加するメリットになりやすいと思います。
- ・テーマに沿って研究をしてほしいです。テーマを決めて、ある研究内容に沿って複数の施設で共同研究などが行えればいいかもしれません。ビッグデータではないが、単一施設だけの研究だけではなく、共同での研究やテクニックに絞った研究などいいかもしれません。
- ・会員の要望をしっかり捉えて欲しいです。
- ・中堅クラス以上の PT がほとんど参加していないと思われます。特に研究・教育をリードすべき教員の方の論文が PT ジャーナルなどの国内のメジャーな雑誌でほとんど掲載されず、メジャーな雑誌に掲載されていたり全国学会などで公演を行っているのは一部の教員のみであり、県学会ですら発表・参加しないことが大きな問題であると思います。
- ・発表の学術的なレベルが低く、有意義な質問が少ないです。学術活動に力を入れている先生ほど県の学会には出ずに、他の学会を目指しているように感じます。発表をどうするかと言うより、研究を支援・活発化という視点のほうが良いのではないかと思います。
- ・県学会で得られるものが少ない印象です。例えば、ブースであったり新しい情報を得られると遠方学会に行かなくても得られるので助かります。また、新人教育プログラムや生涯学習の要素も合わさっていると、学習面でも参加したいです。現在は管理者の集まり(診療報酬の情報共有も含む)や新人教育プログラム等は別機会ですが、わざと学会の日程に組み入れることで、いろんな年齢層のセラピストが参加する会になるのでしょうか？ランチオンセミナーなどの他学会で有意義な企業等とのコラボも魅力的かと思います。
- ・準備する側もとても大変だと思うので何かしらのメリットや報酬なども検討しても良いかと思います。
- ・人数が少ない支部は運営が大変な場合があるので他支部と合同で行っても良いのではと思います。
- ・特定の人が準備で忙しくなることが、なるべくなくなってほしいと思っています。
- ・県士会と支部の関わりを深めて運営してもらいたいです。
- ・土曜、日曜、休日勤務の職場が増えており、会員による運営(運営スタッフの確保)が困難になってきているように思います。
- ・発表する機会は確保する必要があります。発表者を確保するには、本人の意思と周囲の環境がポイントと考えます。